

職務経歴書 強み：PjM・PdM

個人情報保護のため 無断で使用することはご遠慮ください。

キーワードについて「<https://Dict.sb-hrms.com>」から確認できます。

2022 年 09 月 01 日 現在

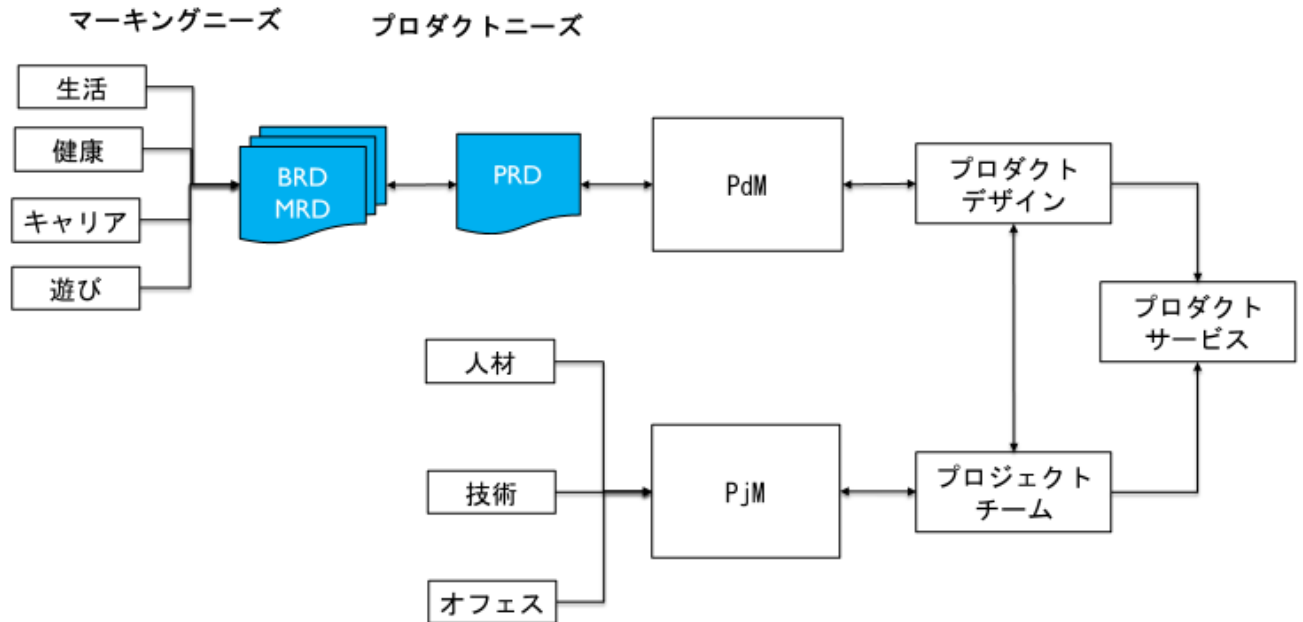
氏名： 孫 樹斌 (ソン ジュヒン)

■プロダクトマネージャー (PdM) ・プロジェクトマネージャー (PjM)

プロダクトマネジメントとプロジェクトマネジメントの経験を基に 大学授業用のテキストブック《プロダクトマネージャ》(前版2015年)を編集・更新しています。今回 近年のIT業界の進化、業界ビジネスインベーションによって 内容を添削して 最新のバージョンを作成します。

以下の図面は理解易いイメージです。

プロダクトマネジメント・プロジェクトマネジメント



関連GitHub:<https://github.com/business-consultant/>

<mailto:sunshubin@outlook.jp>

	プロダクトマネージャー (PdM)	プロジェクトマネージャー (PjM)
必要な知識	ソーシャルネットワーク	ITIL
	一般心理学・行動経済学	PMP
	ビジネスマネジメント	経理
	ユーザーエクスペリエンス	IT関連知識
客先	エンドユーザー	プロダクトオーナー
インプット情報	業界の情報	プロダクトデザイン
主な作業内容	マーケティング調査	スコープ管理
	ユーザーエクスペリエンスデザイン	スケジュール計画と管理
		チーム体制、要員計画と管理
		見積、コスト管理
		品質管理
		リスク管理
成果物	BRD	設計書
	MRD	ソース
	PRD	テストケースとデータ
		プロジェクトマネジメントレポート
	プロダクトのデモ	システムガイド
アウトプット情報	プロダクトデザイン	プロダクト

職務経歴書 強み：PjM・PdM

個人情報保護のため 無断で使用することはご遠慮ください。

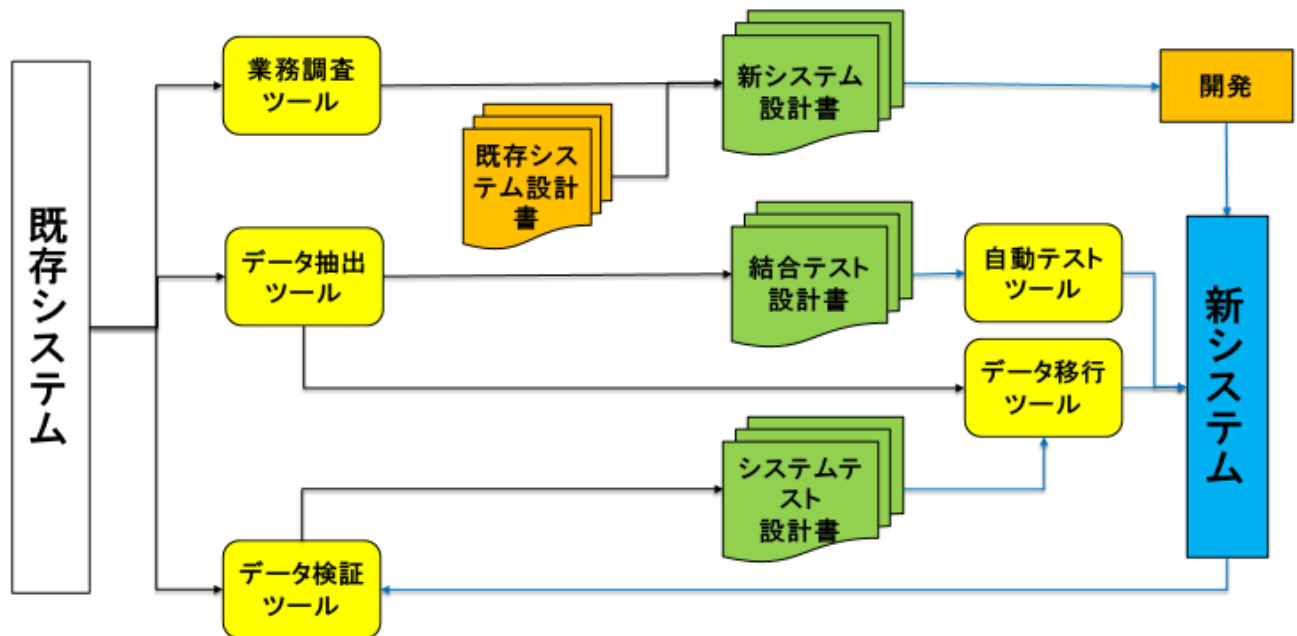
キーワードについて「<https://Dict.sb-hrms.com>」から確認できます。

2022 年 09 月 01 日 現在
氏名： 孫 樹斌 (ソン ジュヒン)

■業務プロセスの自動化・システム移行・再構築ソリューション

業務の更新と新技術応用によって 毎10年ごろ 業務システム再構築のケースはたいへん 多いです。けれども 保守作業不備なので 現行システムのコードと仕様書の不一致のケースは多いです。通常の開発プロセスのような人工調査作業の場合 コストは高い、さらに時間は長いです。開発プロセスを工夫してさまざまなツールを開発して 一部作業は自動化になりました。作業プロセス改善以後、生産性は 通常作業の2～3倍になる、バグ数は通常作業の10分の1になりました

システム移行・再構築のソリューション



関連GitHub:<https://github.com/experience-share/>

<mailto:sunshubin@outlook.jp>

お客様の専用開発環境に 利用可能なツールは少ないです。Excel VBAで 以下のツール開発を経験しました

- 自動テスト (Mainframe)
- ソースコンペア
- システム機能調査ツール
- 自動テスト (Junit)
- 自動バックアップ&納品
- データ移行・導入ツール

✓**ツールのデザイン** ビジネス作業について 定形作業は多いですが 人工作業の場合 時間が長い、ミスが多い、生産性と品質は保証できません。ですから 作業のシナリオを整理して、どのステップは必ず人工作業、どのステップはツール作業できる、作業プロセスを工夫して 自動作業ツールをデザインします。

✓**業務調査自動化** 現行システム業務名によって システムジョブ、PGMを読み込み、ソースのコメントとロジックを判断して 自動なシステムマップを作成します。

✓**ソース自動変換** 新システム仕様書によって 現行システムのソースを読み込み、新システムのソースの一部 自動な作成します。

✓**データ移行自動化** 現行システムの必要なデータを読み込みし、暗号化し、新システムに転送し、アン暗号化を実施して セットアップします。

✓**データ検証自動化** 新旧システム並行運用の時 新旧システムデータ一致性を自動な検証します。

✓**ツール利用の効果** 新人教育の所要時間は短縮しました。さらに チームの生産性は200%以上にアップ、コストは30%以上を減少しました。プロジェクトの利益は通常よりアップになりました。

職務経歴書 強み：PjM・PdM

個人情報保護のため 無断で使用することとはご遠慮ください。

キーワードについて「<https://Dict.sb-hrms.com/>」から確認できます。

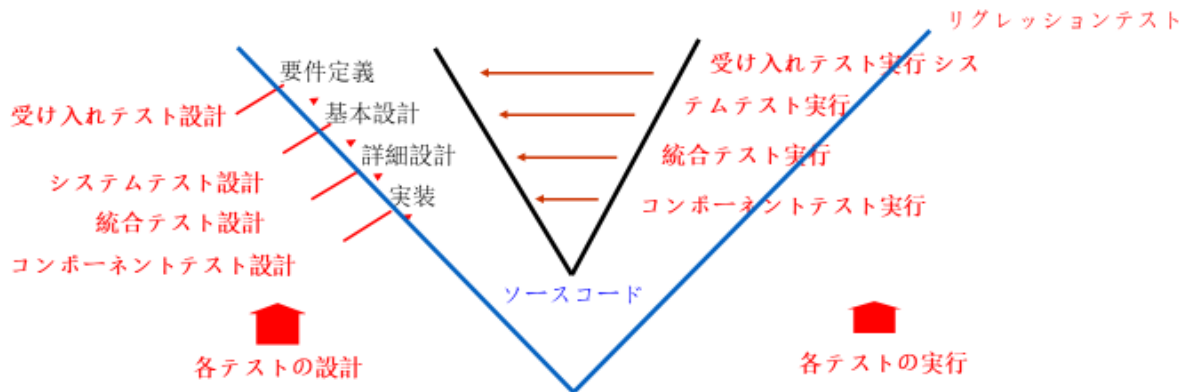
2022 年 09 月 01 日 現在
氏名： 孫 樹斌 (ソン ジュヒン)

■品質保証ソリューション

テストが開発工程（「運用と保守」を除いた）に占める費用割合は46%にもなります。ソフトウェアライフ全体コストの15%の割合です。

品質保証はユーザーやその他ステークホルダーの期待通りの動作内容であることの妥当性確認をすることだけではなく、お客様の信頼を積み重ねることです。

品質保証ソリューション



アジャイル開発（スクラム）ソリューション：設計、製造、テストの平行作業の早期テストモデル

サイクル	要件定義	基本設計	詳細設計	統合テスト	システムテスト	受入テスト
設計作業	マイクロサービス定義	マイクロサービス機能設計	マイクロ設計	設計書更新		
製造作業	インフラ整備	仮サービス	機能開発	ソース保守		
テストポイント	インターフェース	インターフェース	コンポーネントテスト	サブシステム間機能確認	システム機能、性能、安定性などの確認	ユーザーニーズの最終確認

関連GitHub：<https://github.com/business-consultant/>

<mailto:sunshubin@outlook.jp>

✓**早期テスト（シフトレフト）で時間とコストを節約** テスト担当者かシステム設計者と密接に連携して作業することにより、両者が設計とその設計をどうテストするかに対する理解を深めることができる、結果として、基本的な設計の欠陥が混入するリスクを低減でき、テストケースを早い段階で識別できる。

✓**アジャイルモデルで数回検証** インフラ整備→マイクロサービス（仮）→コンポーネント（仮）→モジュール開発→コンポーネント構築→マイクロサービス構築→システム整備の順番によって まず 仮の部品で基盤機能とインターフェースを確認して 基本サービスの機能をテストします。あと、各部品のサービスを開発して全体を統合して 既定のサービス機能をテストします。

✓**設計・開発・テストの平行作業** システム設計、テストケース設計、開発・製造、テストの担当者は一人ではなくて 別々のメンバーです。設計不備の早期発見は可能です。

✓**受入テスト、システムテスト、統合テスト、結合テストの平行作業** テストケースを早期作成して、毎サイクル成果物リリースの時 各テスト環境の順番（結合テスト→統合テスト→システムテスト→受入テスト）によって 自動テストし 正常の場合 次のテスト環境にソースをリリースしてテストを実施します。欠陥は早期発見できます。

✓**業務プロセス自動化の工夫** 開発環境とテスト環境の自動整備、プロジェクト資産の自動管理、自動リリース、自動テストなどのツールを工夫して メンバーの生産性と成果物の品質は向上になります。